

ORGANIC FIRST SILICA

オーガニックファーストシリカ

植物性非結晶シリカ原粉末

【有機JAS自信度◎】 微粉末状 NET-50L / 10 kg

植物性シリカ(国産米もみ殻由来)が主原料
有機JAS資材リスト認証登録資材

有機JAS資材リスト認証等国資材 JASCOM-250301
日本のお米のもみ殻から生成した「ファーストシリカ®」を原料に使用
(バイオマス100%認証資材No. 210133)



■ 有機JAS資材リスト認証等国資材 JASCOM-250301

■ 分析成分量(%) SiO_2 約90.0%

■ 形状 非結晶微粉末

■ 施用量 10aあたり

■ 水稻 田植え前 10~20 kg 育苗 20 g / 箱

* 根・株張りが良く、分けつが増え、初期成育が旺盛となり、増収や品質向上に働く。

* タンパク、アミロース含量が下がり、食味が向上します。

* 夏季高温時でも、未熟米が少なくなり整粒歩合が向上します。

* ケイ酸の働きで茎が強くなり、病虫害被害軽減や倒伏しにくくなります。

* 丈夫な苗となり、定植後もケイ酸の吸収が活発になります。

* 鉄とケイ酸とマグネシウムは相乗効果を発揮します。

有機稲作 品質・収量向上のために

稲の生育にはケイ酸が非常に重要で、年間約110.5kgのケイ酸を吸収するといわれています。そのうち約60%は
土壌や水から供給されますが、残りの約40%はケイ酸資材で補う必要があります。

有機ケイ酸は水には溶けにくく、根酸によってゆっくり溶け出す性質があります。そのため、稲が多くのケイ酸を必要とする出穂前までに十分吸収できるよう、ケイ酸資材は早めの田植え前に施用しておくことをおすすめします。

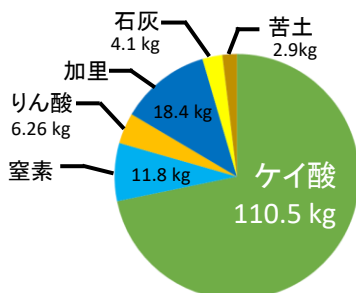


図1. 水稻における無機養分吸収量の割合

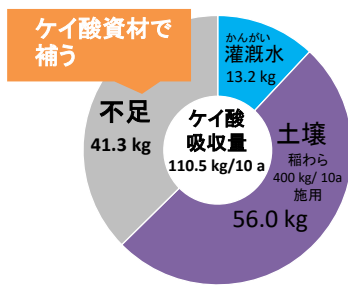


図2. 水稻のケイ酸供給源

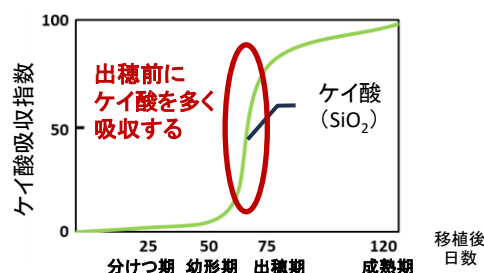
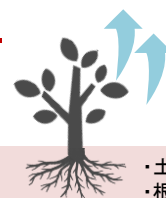


図3. 水稻のケイ酸吸収指数の変化

参考: 江崎幹夫, 1995

ケイ酸の効果

- ① 光合成の促進
- ② 茎葉を強くし、倒伏軽減
- ③ 受光態勢の改善
- ④ 病虫害に対する抵抗性付与
- ⑤ 根の活力向上
- ⑥ 増収と品質向上+食味向上



- ・光合成促進
- ・茎葉を丈夫に
- ・蒸散で地熱発散

- ・土壌内の通気性を向上
- ・根張り促進

■ 麦	元肥施用量	1～2 袋	分けつ、段数、歩留まりが向上。増収。倒伏軽減・病虫害軽減。
■ ネギ	2～4 袋	根張りが良く、後期に生育旺盛。軟白が良く太り秀品立向上、増収。	
■ 玉ねぎ	2～4 袋	初期成育が旺盛。葉が丈夫になり、玉しまりの向上、玉の肥大・増収。糖度アップ。	
■ キャベツ	2～3 袋	結球が早く、増収。微量要素の供給で病虫害が軽減。	
■ キュウリ	2～3 袋	根張りが良く、根重増加。生育促進、病害軽減。	
■ トマト	1～2 袋	生育促進、糖度アップ	
■ アスパラ	1～2 袋	根張りが良くなり、茎数、茎径の増加、収量増加。	
■ 果樹	2～3 袋	生育促進、肥大促進、病虫害軽減。	
■ お茶	2～3 袋	芽伸び、葉色が良い。	12